令和2年度

橋梁補修工事

苦木沢橋

数量計算書

上伊那郡　中川村

工事数量総括表

（ 苦木沢橋 ）

工　種・種　別	細　別	規　　格	単位	数　量	備　考
上部工補修工					
ひび割れ補修工	ひび割れ注入工	延べ施工延長	m	2.0	
		土木補修用ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入材3種	kg	0.2	
		エポキシ樹脂パテ材	kg	0.4	
		低圧注入器具	個	7	
下部工補修工					
ひび割れ補修工	ひび割れ注入工	延べ施工延長	m	5.2	
		土木補修用ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入材1種	kg	1.4	
		エポキシ樹脂パテ材	kg	1.0	
		低圧注入器具	個	18	
支承補修工					
表面保護工	表面保護工	ゴム支承用耐候性表面保護	基	8	
			m^2	2.0	
		ゴム支承用耐候性表面保護材	本	2	
伸縮装置補修工					
伸縮装置設置工	鋼製伸縮装置	鋼製荷重支持型伸縮装置（設計伸縮量90mm）	m	14.0	
		地覆ジョイント	箇所	4	
		端部ゴム管	箇所	4	
地覆部シーリング工		シール材	箇所	4.8	4箇所
		バックアップ材	箇所	35.0	4箇所
伸縮装置撤去工	既設伸縮装置	コンクリート廃材	m3	1.9	
			t	4.5	
仮設工					
補修用足場工	枠組足場	タイプG	掛m^2	44	
	単管足場		掛m^2	27	

上部工補修工　数量計算書

工種・種別・細別	規　　格	計　算　式	数　量
上部工補修工			1 式
ひび割れ補修工			
ひび割れ注入工	延べ施工延長	L=（別紙参照）　=　2.0	2.0 m
	土木補修用ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入材3種	W=（別紙参照）　=　0.2	0.2 kg
	エポキシ樹脂パテ材	W=（別紙参照）　=　0.4	0.4 kg
	低圧注入器具	N=（別紙参照）　=　7	7 個

上部工補修工

(1) ひび割れ注入工

規　格	材　料	単位	単位数量 (1m当り)	合計 数量	備　考
延べ施工量		m	―	2.0	
注入材※	土木補修用ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入材3種	kg	―	0.2	V=注入材体積×1540kg/m^3(ロス率込み)
シール材	エポキシ樹脂パテ材	kg	0.2	0.4	V=0.2kg/mを想定
低圧注入器具		個	-	7	L=300mm/個　N=2.0/0.3=7個

※注入材は以下を想定する
　注入材体積m^3×比重1.10g/cm^3×ロス率140%

ひび割れ注入工 数量表
（ひび割れ幅 0.2mm≦W＜1.0mm）

番号	位置	幅 W (mm)	延長 L (m)	深さD (mm)	体積 (m^3)
13	第3径間	0.3	1.0	200	0.00006
14	〃	0.2	1.0	200	0.00004
	合計		2.0		0.00010

下部工補修工　数量計算書

工種・種別・細別	規　　格	計　算　式	数　量
下部工補修工			1 式
橋台			
ひび割れ補修工			
ひび割れ注入工	延べ施工延長	L=（別紙参照）　=　5.2	5.2 m
	土木補修用ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入材1種	W=（別紙参照）　=　1.4	1.4 kg
	エポキシ樹脂パテ材	W=（別紙参照）　=　1.0	1.0 kg
	低圧注入器具	N=（別紙参照）　=　18	18 個

下部工補修工

(1) ひび割れ注入工

規 格	材 料	単位	単位数量 (1m当り)	A1橋台 数量	A2橋台 数量			合計 数量
延べ施工量		m	—	2.6	2.6			5.2
注入材※1	土木補修用ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入材1種	kg	—	1.0	0.4			1.4
シール材※2	エポキシ樹脂パテ材	kg	0.2	0.5	0.5			1.0
低圧注入器具	※3	個	-	9	9			18

※1 注入材は以下を想定する

注入材体積m^3×比重1.15g/cm^3×ロス率140% → V=注入材体積×1610kg/m^3(ロス率込み)

※2 V=0.2kg/mを想定

※3 L=300mm/個

ひび割れ注入工 数量表

(ひび割れ幅 0.2mm≦W＜1.0mm)

番号	位置	幅 W (mm)	延長 L (m)	深さD (mm)	体積 (m^3)	番号	位置	幅 W (mm)	延長 L (m)	深さD (mm)	体積 (m^3)
1	A1橋台	0.5	2.6	500	0.00065	22	A2橋台	0.2	1.2	500	0.00012
						23	〃	0.2	0.6	500	0.00006
	A1橋台 計		2.6		0.00065	24	〃	0.2	0.8	500	0.00008
							A2橋台 計		2.6		0.00026
							合計		5.2		0.00091

支承補修工　数量計算書

工種・種別・細別	規　　格	計　　算　　式	数　　量
支承補修工			1 式
表面保護工	ゴム支承用耐候性表面保護材	N = 4 × 2 = 8	8 基
		1箇所当り A=0.41m×0.15m×4面=0.25m^2	
		A = 0.25 × 8 = 2.0	2.0 m^2
	HBコート ソフトタイプ	カタログ使用量参考	
		V = 140 / 0.948 × 2.0 ≒ 296	296 cc
		N = 296 / 180cc/本 ≒ 2	2 本

伸縮装置補修工　数量計算書

工種・種別・細別	規　　格	計　　算　　式	数　量
伸縮装置補修工			1 式
伸縮装置取替工			
伸縮装置	鋼製荷重支持型伸縮装置（設計伸縮量90mm）	L = (A1)7.000+ (A2)7.000 = 14.000	14.00 m
	地覆ジョイント	N = (A1) 2 + (A2) 2 = 4	4 箇所
	端部ゴム材	N = (A1) 2 + (A2) 2 = 4	4 箇所
地覆部シーリング	シール材	V = = 4.80	4.8 L/箇所
	バックアップ材	V = = 35.00	35.0 L/箇所
既設伸縮装置撤去工			
	既設伸縮装置撤去Co殻	V = = 1.90	1.9 m3
		W = = 4.5	4.5 t

伸縮装置取付工

参考数量表

品　　名	仕様・規格	単位	A1	A2	合計	備考
鋼製荷重支持型伸縮装置	設計伸縮量90mm 遊間255mm	m	7.000	7.000	14.000	
地覆ジョイント		箇所	2	2	4	
鉄筋　S1	D16 SD345	kg	43.68	43.68	87.36	
差し筋アンカー	D16 異形鉄筋付	本	144	144	288	
後打ちコンクリート	σ3h =24.0N/㎟	m3	1.002	1.002	2.004	
シール材	シリコーン系	L	4.80×2 ＝　9.60	4.80×2 ＝　9.60	19.20	ロス20%計上
シールプライマー	300g缶	缶	－	－	1	最小ロット
バックアップ材	軟質ウレタンフォーム	L	35.00×2 ＝70.00	35.00×2 ＝70.00	140.00	
端部ゴム材	25Ax1500	本	2	2	4	

数量計算

鉄筋　S1　D16　　L=4×7.000=　28.00 m　1箇所当り
　　W=28.00×1.56=　43.68 kg　1箇所当り(W=1.56kg/m)

差し筋アンカー　D16@200 N=(7.000/0.200+1)×4=　144 本　1箇所当り

後打ちコンクリート　V=(0.500+0.395)×0.160×7.000=　1.002 m3　1箇所当り

シール材　V=0.020×(0.600+0.230)×0.255=　0.004 m3　1箇所当り
　　V=0.004×1000×1.2=　4.80 L　1箇所当り　ロス20%計上

バックアップ材　V=(0.250×0.580−0.120×0.060)×0.255
　　=　0.035 m3　1箇所当り
　　V=0.035×1000=　35.00 L　1箇所当り

伸縮装置撤去工

既設伸縮装置コンクリート撤去
　既設取壊し断面図より　A=0.160×(0.500+0.350)=　0.136m2

コンクリート廃材
　V=0.136×14.0=　1.90m3
　W=1.90×2.35=　4.5t

仮設工　数量計算書

工種・種別・細別	規　格	計　　算　　式	数　　量
仮設工			1 式
補修用足場工			
枠組足場	タイプG	(A1,A2橋台前面) A= 8.2×2.5+9.2×2.5 = 43.50	44 掛m^2
単管足場		(A2橋台側面) A= 3.5×(4.5+3.31)/2×2 = 27.34	27 掛m^2